

【論文】

「パパ活」の定義論 —「援助交際」と何がどう違うのか?—

A definition theory of "Daddy dating" called "Papa-katsu" in Japanese
—How is it different from a form of compensated dating called "Enjo-kosai"?—

圓 田 浩 二⁽¹⁾
Koji MARUTA

専門分野：社会学

要約

本稿の目的は、「パパ活」とはどのような行為で、いつから言葉が使われ、一般に広まったのか？類似する援助交際とはどう違うのかを考察することにある。方法は、書籍、雑誌記事、ネット記事、インターネット掲示板、学術論文における「パパ活」の内容分析を用いる。筆者は「パパ活は何も新しい社会現象でも行為・コミュニケーションでもない」という説を支持する。交際クラブやパパ活アプリ・サイト、それに釣られたオジサンと若い女性たち、パパ活を持ち上げるアフィリエイター、そしてこれにお墨付きを与える社会学者（自称も含む）やライターたちによって、「パパ活」というマッチポンプができあがる。

パパ活とは、就活、婚活などのように、「パパ」を得るための活動であり、その中身は「性的魅力（若い、かわいい、清楚など）のある女性が、「大人」をちらつかせながらお茶や食事、デートなどの性的行為ではない方法で自分たちと20-30歳くらい離れた男性から金銭的搾取を行う活動であり、男性は直接的な性的搾取である「大人」を求めて女性に対して間接的な性的搾取を行う」ことである。

キーワード：援助交際、パパ活、マッチポンプ

Abstract

The purpose of this paper is to answer the questions: What kind of activity is "daddy dating" called "Papa-katsu" in Japanese when the word was first used, and how it spread to the general public. The purpose is to examine how it differs from similar compensated dating called "Enjo-kosai". The method will use a content analysis of daddy dating in books, magazine articles, online articles, Internet bulletin boards, and academic papers.

(1) 沖縄大学経法商学部教授

The author supports the theory that “daddy dating is neither a new social phenomenon nor an action/communication”. The self-produced concept of “daddy dating” is created by dating clubs, papa-katsu apps and sites, the old men and young women who are attracted to them, the affiliates who promote daddy dating, the sociologists (including self-proclaimed sociologists), and writers who endorse it.

Daddy dating is an activity to get a “daddy,” just like job hunting, marriage hunting, etc. Its content is “an activity in which sexually attractive (young, cute, neat, etc.) women financially exploit men about 20-30 years older than themselves in non-sexual ways such as having tea, meals, and dates while flirting with “OTONA=sexual intercourse”. Men use the indirect sexual exploitation of women in search of “OTONA,” which is direct sexual exploitation.

Keywords : compensated dating, daddy dating, self-produced concept

1. 問題の所在

事情があって家に帰れなくなった「女子大生」の杏里が同じ大学の友達のるいに相談を持ちかける。

るい「パパ活すればいいじゃん」

杏里「パパ活？」

るい「サイト内で登録するだけで女子は無料だし」

杏里「出会い系？ それって違法じゃない？」

るい「あんた高校生？ 全然そんなんじゃないって。セフレ募集じゃないってきっちり書いてくればいいじゃん？」

杏里「いや、だけど…」

るい「いるんだって意外と。お金持ちのおじさまで、クラブとかキャバとか飽き飽きして『なんか夢持ってる女子に援助したい』って人」

杏里「夢って、別に…」

るい「女子大生なんて大喜びだよー？ 適当に、留学したい、でも何でもいい！ 私もそうしてる」

杏里「え、るい、やってんの？」

るい「私も一人暮らししたくてお金貯めてんの」

と女友達のパパ活勧誘からドラマは始まる。そして、方法と報酬が次に語られる。

るい「まあ、お互い時間合うとき、食事とかカラオケいくくらいで十分だよ。それでお小遣いくれる」

杏里「身体の関係無し…？」

るい「ナッシング。私なんか4人も掛け持ちしてるー」

杏里「4人も！？ 一回のデートに2万で、週1で……。 いやいやそんなうまい話、つか個人

情報とか…」

るい「サイト内で会話して、よさげな人にだけ写真公開すればいいし？ 名前は適当。年だけ誤魔化すと会ったときあれだから、生年月日だけはね」

杏里「いや、写真って…誰か知り合いに」

るい「万が一？ フェイスブックの悪用されたって言い訳すればいいじゃん」

という流れで、ドラマ『パパ活』⁽²⁾ 第1話「今夜泊まる所がないの」では普通的女子大学生がパパ活を始めるというストーリーである。

「売春や援助交際から、さらにマイルドなネーミング化を遂げて、いわゆる“パパ活”が静かな社会問題となっている」[『週刊実話 臨時増刊』2019年2月9日、「今さら聞けないパパ活最前線」p.52] や「「パパ活」は主に大都市圏で匿名性の高い特異な環境を背景に、密かに進展している社会現象である」[松本 2021 p.35] にあるように、「パパ活」がブーム化して5年くらい経っている。現在は、「静かな社会問題」や「密かに進展している会問題」となっている。ある記事では、「いまや20代から30代女性の「10人に1人が経験者」とされる“パパ活”」⁽³⁾ と書かれている。

今年（2022年）だけでも、2022年の1月21日に東京・池袋のラブホテルで男性（82）がパパ活で知り合った24歳女性に刃物で刺されて死亡した事件や『週刊ポスト2022年6月24日号』が報道した2022年5月27日に国会議員の吉川赳氏が未成年の18歳女子大生と飲酒して4万円を渡したとされる事件、39歳の映像ディレクターがパパ活で知り合った女子中学生（15歳）にわいせつな行為をしたとして2022年5月10日に児童買春・ポルノ禁止法違反（買春）の疑いで逮捕された事件などがある。

本稿の目的は、「パパ活」とはどのような行為で、いつから言葉が使われ、一般に広まったのか？ 類似する援助交際とはどう違うのかを考察することにある。本稿では二つの仮説を提示して、それを検証したい。一つ目の仮説は、パパ活は何も新しい社会現象でも行為・コミュニケーションでもないという説である。二つ目の仮説は、パパ活は援助交際とは全く別の新しい社会現象であり行為・コミュニケーションであるという説である。

2. 方法について

方法は、書籍、雑誌記事、ネット記事、インターネット掲示板、学術論文における「パパ活」の内容分析を用いる。大宅壮一文庫での検索用語「パパ活」での検索による雑誌記事の調査、パパ活に関するネット記事の収集、『5ちゃんねる』の「お水出会い系」板のパパ活に関する掲示板、パパ活について書かれた書籍2冊の分析、そして社会学者によって執筆された論文の分析を行う。大宅壮一文庫⁽⁴⁾ は、雑誌記事のワード検索に優れており、近年では日本で刊行された雑誌のほと

(2) ドラマ『パパ活』、2017年6月放送開始。脚本は野島伸司、制作はフジテレビジョンとエイベックス通信放送である。

(3) 河合桃子「「1800万円騙された」30歳被害女性が明かす 急増中「パパ活」詐欺の手口」『デイリー新潮』<https://www.dailyshincho.jp/article/2022/05040600/?all=1> 2022年5月4日閲覧。

(4) 公益財団法人大宅壮一文庫は日本で初めての雑誌図書館である。評論家・大宅壮一（1900-1970）の雑誌コレクションを引き継いで、明治時代以降130年余りの雑誌を所蔵している。大宅壮一文庫で

んどを収集している。調査する内容は、パパ活の定義、その行為内容、援助交際との違いなどである。

3. 内容分析

3-1. 雑誌記事の分析

筆者は2022年7月16日に東京の大宅壮一文庫に赴き、検索用語「パパ活」で検索を行い、「「パパ活」という用語が雑誌メディアに登場したのはいつか?」、「どのような使われ方をしてきたのか?」について調べた。

3-1-1. パパ活は別の意味だった

まず検索に最初に該当したのは、「パパ活に必要な栄養素、亜鉛を使ってCooking!」「今回のパパ活ポイント⁽⁵⁾」であった。2014年の1月時点では、「パパ活」とは子供を出産するために妻が夫にまかなう「精力」のつく食事を作ることであった。

3-1-2. パパ活の登場

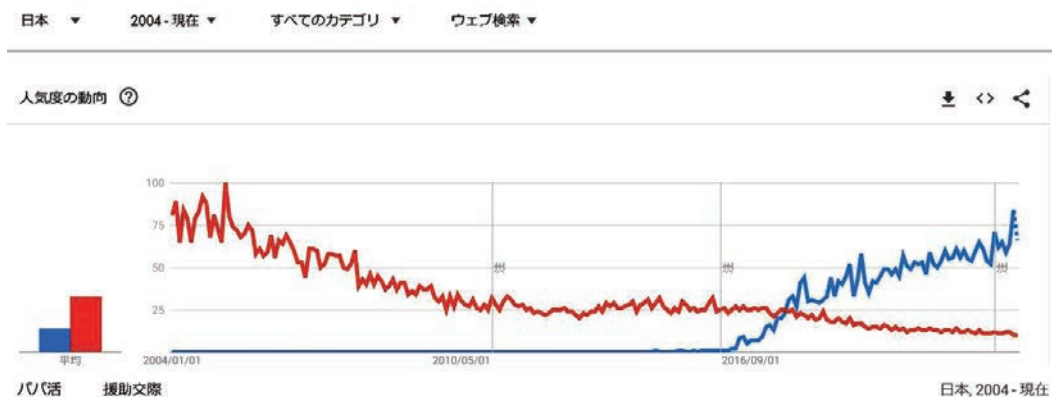
現在の男女間で金銭のやりとりが発生する行為を指す記事が最初に登場したのは、2016年8月19.26日合併号の『FRIDAY』である。見出しは「愛人手当がお手ごろに!「パパ活」の楽しみ方」とあり、「パパ活——金銭的に援助をしてくれる年上男性を探す女性が急増中だ。ありていに言えば愛人契約である⁽⁶⁾」。当時パパ活が「愛人契約」として理解されていたことがわかる。「ミカさん(24)。彼女はいま、5人の“パートナー”からお金をもらい、定期的に肉体関係を結んでいる⁽⁷⁾」や「不特定多数が相手」の風俗やワリキリ(援交)じゃないので危なくないかって」と言うのはなつみ(21)さん。学生の彼女は(以下略)⁽⁸⁾という文章から、定期的な付き合いで性交を行う愛人契約であったことがわかる。

またパパ活という言葉は男女間の金銭を介した行為やコミュニケーションという意味で作られたのは2015年だとされる。根拠は、「「パパ活」という言葉が誕生したのは2015年。作ったのは、業界最大手の交際クラブ「ユニバース倶楽部だ⁽⁹⁾」という記事である。

図1のように、googletrendsで検索ワード「援助交際」と「パパ活」とで比較を行った⁽¹⁰⁾。

は雑誌記事索引データベースを作成しており、主な所蔵雑誌の記事を検索することができる。また、雑誌原本の閲覧や複写もできる。大宅壮一没後の1971年、大宅壮一文庫はマスコミはじめ各界の援助により設立された。「蔵書は多くの人が共有して利用できるものにした」という故人の遺志により、雑誌図書館として一般に開放され、現在では年間約10万人の利用者を数え、多くの皆さまに活用されている。『大宅壮一文庫 ホームページ』<https://www.oya-bunko.or.jp/content/tabid/66/Default.aspx> 2022年7月27日閲覧。

- (5) 『saita』2014年1月号、諸井まみ、「ママになるための体作り活動」p.30。
- (6) 『FRIDAY』、2016年8月19.26日合併号、p.90-91。
- (7) 『FRIDAY』、2016年8月19.26日合併号、p.90。
- (8) 『FRIDAY』、2016年8月19.26日合併号、p.90。
- (9) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.338。
- (10) <https://trends.google.co.jp/trends/explore?date=all&geo=JP&q=%E3%83%91%E3%83%91%E6%B4%B-B,%E6%8F%B4%E5%8A%A9%E4%BA%A4%E9%9A%9B> 2022年7月31日閲覧。



〔図1 googletrendsで検索ワード「援助交際」(赤線)と「パパ活」(青線)比較グラフ 2022年7月31日参照〕

2004年1月1日から2022年7月31日までの平均が「援助交際」34「パパ活」15（トレンドの最大値は100，最小値は0）であるが、2016年8月「援助交際」26「パパ活」5となっており、2016年8月時点では援助交際の方がパパ活よりも5.2倍検索数が多かったことがわかる。ちなみに、2005年3月には「援助交際」100「パパ活」0であり、2022年6月「援助交際」10「パパ活」84であった。トレンドの最大数値は100なので、2005年3月の援助交際の検索数を2022年6月のパパ活の検索数を超えていないことになる。つまり、2022年7月31日の時点では、パパ活ブームは、援助交際ブームを超えていないと言えそうだ。

パパ活の行為内容が愛人契約から女性が男性と食事やデート、性交を行って金銭を得るという行為となったのは、2017年頃だと考えられる。雑誌記事では、「普通の女の子」と遊びたいオジサンがおり、お金がないけど暇と身体を持って余した若い女の子がおり、両者がお金を介して時間を共有する⁽¹¹⁾や「女子大生やOLがちょっとしたお小遣いをもらってオジサンとご飯を食べたりエッチをしたりしているらしい⁽¹²⁾」が該当して、「普通の女の子」と遊びたいオジサンが「女子大生やOL」などの「若い女の子」と「ご飯を食べたりエッチをしたり」して「お小遣い」を渡す行為として紹介されている。このブームを作ったのは、「交際クラブなどの」「業者が切り開いたブーム⁽¹³⁾」としている。

2017年6月は、googletrendsで「援助交際」25「パパ活」24となり、翌月の7月には「援助交際」24「パパ活」33となり、以降「パパ活」が「援助交際」をずっと上回っていく転換点の年月であった。つまり、2017年7月以降、「パパ活」が「援助交際」よりも多く検索されることになる。

そして、パパ活の行為内容は、初期の「愛人契約」から性交などの性行為なしでも「お金」がもらえる行為内容が強調されるようになる。例えば、「売春や援助交際から、さらにマイルドなネーミング化を遂げて、いわゆる“パパ活”が静かな社会問題となっている⁽¹⁴⁾」という文章から始ま

(11) 『クイック・ジャパン』2017年6月号、鈴木涼美、「お金で買える「普通の女の子の存在」」p.7。

(12) 『クイック・ジャパン』2017年6月号、鈴木涼美、「お金で買える「普通の女の子の存在」」p.7。

(13) 『クイック・ジャパン』2017年6月号、鈴木涼美、「お金で買える「普通の女の子の存在」」p.7。

(14) 『週刊実話 臨時増刊』2019年2月9日、「今さら聞けないパパ活最前線」p.52。

る記事では、「出会い系アプリやサイト」などを利用する「投稿系のパパ活女子は大きく二派に分別できる。一派は純粋に性的な行為を交わして、その対価を得ようとする女子。実に正当かつ実直な姿勢であり、パパ側にとってもウィンウィンの関係である。問題なのはもう一派。なんと、こちらの女子は“食事だけの関係”をお望みだ⁽¹⁵⁾」と書かれ、パパ活女性には「性的な行為を交わす派と「食事だけの関係」を求める派の2つがあるとされている。「食事だけの関係」を求めるパパ活女性を「茶飯女」と、パパ活を行う男性たちは侮蔑を込めて名付けている。

3-1-3. パパ活≠援助交際の記事分析

「食事だけの関係」は高級交際クラブ『パステローナ』では食事のみのデートで1万円から3万円となっている⁽¹⁶⁾。この交際クラブは「高級」と謳っているので相場は高めだが、一般のパパ活女性に食事だけで1万円より上の金額を得られると思わせた。こうして、「かつては援助交際のような、カラダありきの関係が主だったが、性的関係以外の男女それぞれの価値を見出した結果が“パパ活”だと加藤文果は続ける⁽¹⁷⁾」といった記事がネット上にアフィリエイトを介して現れるようになった。

つまり、援助交際は女性が性交を含む性的行為を行って金銭を稼ぐことであり、パパ活は女性が性的行為なしのお茶や食事、デートなどで金銭を稼ぐこととなる。女性にとっては売買春などのマイナスイメージを持たずに、参加できるメリットがあった。女性たちにとっては、「パパ活という言葉は、体の取引だけの関係じゃないという大義名分が立つ⁽¹⁸⁾」ことになる。

しかし、これが可能なのは、女子中学生や女子高生⁽¹⁹⁾、女子大生、専門学校生、24歳までのOLなどの年齢制限がある。パパ活を目的とする出会い系サイトの女性の年齢区分は、「18-19歳」と「20-24歳」の20代前半で検索できるように作られている。23歳の水商売で働く葉月さんの言葉は、「若さに価値がつくのは21、22歳頃まで⁽²⁰⁾」と語っている。ここでは、パパ活≠援助交際を立場をとる記事を見ていこう。

パパ活が援助交際とは異なるとする記事は、「パパ活とは、女性が食事やデートに付き合う対価として、「パパ」である男性から金銭を受け取る活動を指す⁽²¹⁾」や大手企業に勤める24歳の「莉央が応じるのはカフェデート30分、お手当は五千円⁽²²⁾」、「パパ活について、以前なら「援助交際」とか「愛人契約」と証されていたものと大差ないと感じる人もいるだろう」が、23歳の水商売で

(15) 『週刊実話 臨時増刊』2019年2月9日、「今さら聞けないパパ活最前線」p.53。

(16) 『FRAIDAY』、2016年8月19.26日合併号、p.91。

(17) 『FLASH』、2018年2月6日、「現役女子大生記者が初体験「パパ活」1カ月完全レポート！」p.75。

(18) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.343。

(19) 39歳の映像ディレクターがパパ活で知り合った女子中学生（15歳）にわいせつな行為をしたとして2022年5月10日に児童買春・ポルノ禁止法違反（買春）の疑いで逮捕された事件や最近実際に起きた事件を参考にして創作したフィクション「ネットで調べると、大勢の女子高生たちがパパ活をしていた」[『週刊新潮』2019年3月7日、観月淳一郎、「“裏オプ”は楽勝じゃなかった「ミホちゃん」のパパ活」p.99]という記事があるように、なかなか表に出てこないが、女子中学生や女子高生がパパ活を行っているケースがある。

(20) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.341。

(21) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.336。

(22) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.339。

働く「葉月さんは援助交際を「食事なしで（性交を）やる前提のもの」と解釈している⁽²³⁾」。

3-1-4. パパ活＝援助交際の記事分析

しかし、雑誌メディアにおいては、パパ活と援助交際を別物として考えない記事も多かった。女性が売春などの性的行為を行う援助交際と売春を行わないパパ活との違いは実に曖昧であった。以下の記事が参考になる。

「メディアは「パパ活」と表現しますが、していることは「売春・買春」とあまり変わりません。かつては「援助交際」という言葉で誤魔化されていた行為が、パパ活という呼び方になっただけです⁽²⁴⁾」や「女性が自らの時間や体を、男性は対価として金銭を提供するのがパパ活の構図だ。援助交際という既存の用語を言い換えただけのケースもある⁽²⁵⁾」という記事では、パパ活＝援助交際と考えている。

では、パパ活が援助交際になるのは何が基準かという、「大人」と呼ばれる性交を行うか否かである。32歳の一般事務に職を持つ女性は「最近では会社員の既婚の四十代男性と「大人の関係」をもっており⁽²⁶⁾」の記事の掲載された「大人の関係」である。「パパ」と呼ばれるオジサンたちが最終的に求めるのは性交（大人）である。顔合わせのお茶（相場0.5万円から1万円）から始まって食事やデート（相場1万円から3万円）に誘って、金銭と時間を割くのはそのためである。ごくまれに、性交などの性的行為を求めないオジサンもいる。そういうレアケースが存在していることが女性たちをパパ活市場に参入させる。

こうして「デートやSEXをする見返りに、金銭を受け取る「パパ活」に走る若い女性が後を絶たない。ネットには「パパ活で月100万円稼ぐ方法」などの情報があふれ、冒頭のような「パパ活マニュアル」まで存在する⁽²⁷⁾」になる。

3-1-5. パパ活女性の属性

では、いわゆる「パパ活女子」とはどんな属性をもつのだろうか？ ライターの中村淳彦は「パパ活とは、高校生ではない18歳以上の男女が、第三者に管理されることなく、個人間の自己決定によって行われるもの⁽²⁸⁾」と書き、パパ活女子には高校生いわゆる「女子高生」は含まれないとしている。

官能ルポ作家の加藤文果はパパ活女子の類型を記述している。「“パパ”に性欲を解消してもらう目的の「見た目は清楚だが性欲重視派」。物欲やお金ほしさにパパ活をする「援助欲しい系」。誰かに認めてほしい、愛されたいという思いからパパ活に走ってしまう「承認欲求型」などの分

(23) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.340。

(24) 『正論』2022年7月号、フィフィ、「「パパ活」と表現するメディアの無責任」p.295。

(25) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.343。

(26) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」p.337。

(27) 『THEMIS』2020年4月号、「「援交」望む若い女性が増えた 最新「パパ活」事情－快楽も危険もあるが」p.92。

(28) 『週刊SPA!』、2022年5月17日、「激変する「パパ活市場」大調査」p.53。

類できる⁽²⁹⁾」。この記事では、パパ活女子にはその目的に応じて三つの類型があるとしている。性欲重視派と援助欲しい系、承認欲求型の三つである。

筆者は、2001年に出版された自著『誰が誰に何を売るのか?』において、援助交際女性を三類型四系統に分類している [圓田 2001 p.69-82]。

一つ目の類型は効率追求型「バイト系」で、援助交際女性は援助交際を「効率のいいアルバイト」と考える。二つ目の類型は欲望肯定型「快楽系」で、援助交際女性は援助交際を金品の取得と性的な快楽の獲得の二つが得られるものとして考える。三つ目の内面希求型「欠落系」は二つのサブカテゴリーを持ち、「AC系」の援助交際女性は援助交際に人格的なつながりや承認を求め、「魅力確認系」の援助交際女性は援助交際に性的な承認「女であること」や「女として価値が自分にあること」を求め、確認する。筆者の類型で言うならば、性欲重視派は欲望肯定型「快楽系」、援助欲しい系は効率追求型「バイト系」、承認欲求型は内面希求型「欠落系」に該当する。

ということは、加藤文果が提示したパパ活女子の類型は筆者の援助交際女性の類型論と変わらず、参加する女性の類型から見て、パパ活は援助交際と変わらない属性を持つ女性たちが参加していることになる。

3-2. 書籍の分析

雑誌記事の分析は上で見てきた。次はパパ活について書かれた2冊の書籍をみて見よう。取り上げるのは坂爪真吾の『パパ活の社会学—援助交際、愛人契約と何が違う?—』と中村淳彦の『パパ活女子』である。

「2017年4月21日、NHK福岡の報道番組で『広がるパパ活 なぜ女性たちは』というタイトルの特集が放送された。番組内では「若い女性の中に、年上の男性とデートをして、その見返りに金銭的な援助を受ける」という「パパ活」が広がっている様子が紹介された」[坂爪 2018 p.3]と書かれ、NHK福岡放送局ではパパ活とは「若い女性の中に、年上の男性とデートをして、その見返りに金銭的な援助を受ける」行為であるとされる。ここで問題なのはデートの中身で、具体的に何を指すのかということが重要である。「オショックス」とは、お食事とセックスを掛け合わせた造語である。パパ活の世界では「食事をして、その後ホテルでセックスすること」という文脈で用いられる場合が多い。例えば「昨日の夜パパと会ってオショックスで5万もらったよ」といったように」[坂爪 2018 p.118]。この記述では、パパ活で食事をしてその後性交することが「オショックス」と呼ばれていると書かれている。つまり、坂爪真吾によれば、パパ活とは男上の男性と若い女性が食事や性交を行って女性が金銭を得る行為となる。これは、筆者によれば、援助交際と変わらない行為である。

また、中村淳彦は「2016年にパパ活という言葉が生まれ、様々な人がパパ活という言葉を使うようになり、2017年以降に一般社会に浸透している」[中村 2021 p.5]と記述し、2016年に「パパ活」という言葉が生まれたこと、2017年以降一般社会に広まったとしている。3-1-2で見たgoogletrendsでの分析とも一致する。

そして、パパ活の定義や行為内容については、「パパ活とは「パパを探す活動」の略、または「パ

(29) 『FLASH』、2018年2月6日、「現役女子大生記者が初体験「パパ活」1カ月完全レポート!」p.75。

トロンを探す活動」という説もあり、あらゆる面で割を喰っている若い女性たちの能動的な鼓動から生まれた現象だ」[中村 2021 p.8] と記述し、「現状では混同されているパパ活と援助交際は、似て非なる行為であり、結論から言うと「援助交際＝売春≠パパ活」となる。パパ活は売春ではないのだ」[中村 2021 p.19] と、援助交際＝売春≠パパ活説を唱えている。筆者が3-1-5で結論づけた援助交際＝パパ活説を否定している。

その根拠を見てみよう。「援助交際とパパ活は混同されているが、成人女性が特定の男性との恋愛や疑似恋愛を目指すパパ活は、援助交際とは異なるものだと言える」[中村 2021 p.24] と記述し、その理由をパパ活は援助交際と異なり「成人女性が特定の男性との恋愛や疑似恋愛を目指す」からとしている。筆者から言わせれば、「パパ活女子」の中にはオジサンとの恋愛や疑似恋愛を目指すものがごくまれにはいるかもしれないが、その多くの女性たちの目的は有り体に言えば「金」である。もしパパ活女子がオジサンとの恋愛や疑似恋愛を目指すのに、なぜオジサンからパパ活女子がかなり高額な金銭を受け取ることができるのかを考えればわかるだろう。恋愛は基本的に対等な関係だから成立し、金品の授受はその目的ではない。中村淳彦はかなり操作的な定義と誘導を行っていると思う。

中村淳彦の「パパ活の定義① デートして、その見返りに金銭的な援助をしてくれる男性を探すこと」、「パパ活の定義② 第三者が関わることなく、自己完結する」、「パパ活の定義③ (高校生ではない) 18歳以上」[中村 2021 p.27] としている。「パパ活の定義①」の「デートして、その見返りに金銭的な援助をしてくれる男性を探す」こと自体、「成人女性が特定の男性との恋愛や疑似恋愛を目指す」ことと矛盾しているのではないだろうか？

そして、「パパ活ではない関係① 未成年(18歳未満)との関係」、「パパ活ではない関係② 業者や第三者に管理されている女性との関係」[中村 2021 p.27] はパパ活でないと言われる。「この「パパ活ではない関係①②」の男女関係は、パパ活と呼ばないことにしたい。未成年との性的な関係は犯罪であり、成人同士のパパ活とは分けて考える必要がある。すでに児童売春を指す言葉として援助交際があるので、対価を払った未成年との関係はパパ活ではなく、援助交際とするのが自然である」[中村 2021 p.27]。中村淳彦によれば、「すでに児童売春を指す言葉として援助交際がある」としているが、自著[圓田 2001]で詳述したように、援助交際は児童売春ではない。また2022年5月10日に児童買春・ポルノ禁止法違反(買春)で逮捕された39歳の映像ディレクターがパパ活で知り合った女子中学生(15歳)にわいせつな行為を行ったことからわかるように、「パパ活」という目的で、女子中学生や女子高校生も参加しているのが現状である。性風俗とその周辺領域で取材を続けるライターとしてかなりおかしい記述と決めつけである。

「パパ活では、相手と肉体関係をしたくない女性を、自分自身の魅力や言葉で口説き落とすことを「茶飯崩し」と呼ぶ。茶飯崩しを成功させると男性の自信になる。場数を踏んでいるパパ活男性がチャレンジする行為である」[中村 2021 p.94] と「茶飯女」と呼ばれるお茶や食事、性交渉なしのデートを続けるパパ活女子たちを取り上げているが、パパ活女子が「相手と肉体関係を」結べば、これはもうパパ活でなくなると言うことなのだろうか？ デートの中身に性交などの性的行為が含まれているのが問題となる。

また、中村淳彦は「どこの大学も女子学生はキャバ嬢、風俗嬢、パパ活女子だらけなことはずでに述べた」[中村 2021 p.187] と記述しているが、その根拠や資料は何なのか、どういう調

査に基づいているかが知りたい。これは悪く言えば、世の中の存在する119万6,555人（2021年度）の女子大学生⁽³⁰⁾への冒涇になるだろう。この記述も操作的な印象操作と誘導を行っているとな筆者は考える。自分の書籍の売り上げを増やしたいために虚偽の記述を行っているのなら、ルポライターや物書きとして失格であると筆者は考える。

3-3. ネット掲示板の分析

『5ちゃんねる』は日本最大の電子匿名掲示板であり、『2ちゃんねる』として1999年5月に開設された。「お水出会い系板」には、パパ活に関する掲示板がいつも立てられている。そこでは「パパ活」について活発な議論が日々行われている。その議論の中でも、パパ活の定義や概念に関連するものを取り上げて検討する。

3-3-1. パパ活女子がパパ活を行う理由

「大人ありの女が風俗ではなくパパ活を選ぶ理由とはなんだ？」⁽³¹⁾という問いに対して、「不特定多数はリスク高すぎるから⁽³²⁾」や「パパを選べるからだろう 妥協点は店勤務よりはるかに高く出来る⁽³³⁾」、「やっぱそうですね 店だったらどんな男も受け入れなきゃならない⁽³⁴⁾」と答えが返ってきている。パパ活女子が性風俗でなくパパ活を選ぶ理由は、「不特定多数の客との性交渉」のリスクを避けられ、「パパを選べ」て「店勤務よりはるかに高く」報酬を得ることができる点にあるという。

しかし、次のような問題もあるという。「冷やかしや暴力、やり逃げのリスクもあるけどね マッチングの交渉も時間かかるし回転悪そう⁽³⁵⁾」と、パパ活のリスクと「良パパ」（金払いがよくて無理・無茶な要求をしない）を得るための時間がかかると指摘する。「だからパパを厳選してるpj（筆者解説：パパ活女子のこと）は生活費まで困窮するほど貧乏してない。全身脱毛とか整形で数十万かかるのをパパ活で稼ぐか。とかのタイプが多いです⁽³⁶⁾」と、パパ活は生活費を稼ぐこ

(30) 『大学ジャーナルONLINE』「2021年度の大学生総数、約263万人で過去最多を更新」
<https://univ-journal.jp/138038/> 2022年7月31日閲覧。

(31) 804 名前:名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日:2022/06/06 (月) 10:40:48.23 ID:iCms+O+70 [1/2] パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

(32) 807 名前:名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日:2022/06/06 (月) 11:14:18.36 ID:e7gETbQv0 パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

(33) 808 名前:名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日:2022/06/06 (月) 12:12:34.08 ID:eG6qrH-BX0 [1/2] パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

(34) 810 名前:名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日:2022/06/06 (月) 12:34:52.01 ID:iCms+O+70 [2/2] パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

(35) 809 名前:名無しさんと大人の出会い [] 投稿日:2022/06/06 (月) 12:22:54.10 ID:CBdJc+JP0 パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

(36) 811 名前:名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日:2022/06/06 (月) 12:57:59.56 ID:eG6qrH-BX0 [2/2] パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月6日閲覧。

とではなく、ちょっとした入り用のお金を稼ぐのに向いていると指摘する。

3-3-2. オジサンがパパ活を行う理由

また男性側がパパ活を行う理由について、次のような議論がある。「風俗より素人がいい理由を教えてください⁽³⁷⁾」という問いに対して、「性病リスクが低い 顔見て選べる 独占できることもある 時間に拘束されない事が多い デートできたり恋人気分 生でも安心⁽³⁸⁾」という回答があった。また別の回答では、「うちの定期（筆者解説：1月以上関係が続いている状態）の場合は時間とホスピスかな 風俗嬢と違ってエッチ終わってからご飯やお茶とかしてくれる しかもご飯やカフェもキャバ嬢と違って高級なとこじゃなくてもいい 昨日も昼の12時に会ってホテルいってご飯して解散は16時 この子は格安だからこれで2⁽³⁹⁾万円とある。つまり、パパ活を行うオジサンたちにとって、パパ活女子は性病リスクが低くゴムなしで男性器を女性器に挿入できる。またパパ活女子を選択でき、時には自分一人だけが相手となる独占状態が生まれる可能もあり、時にはデートできたり恋人気分の時もある。よい定期の関係を結べれば、時間に自由がきき、パパ活の関係が親切なもてなしや休息の場となるそうだ。

しかし、次のような考えもある。「総額とリスク考えたらソープいったほうがサービスいいんだよなw⁽⁴⁰⁾」と、交際クラブやパパ活アプリやサイト登録料、マッチングの交渉も時間がかかり、必ずしも男性側の条件に合う理想の相手が現れるとは限らず、すっぱかしやマッチング交渉の途中でやりとりが途切れるケースもあり、パパ活でいうところの「大人」を目的とするならば、「総額とリスク考えたらソープ」がいいと語っている。

オジサンたちの多くが比較的若くて清楚な女性たちにパパ活に求めるのは最終的には「大人」（性交）の関係である。次のようなエピソードがある。「お前ら入会したての18JD（筆者解説：女子大生の略字）にどんだけ大人大人って押し寄せてるんだよ pjびびって「私にはこのサイトを耐えることでできません」とかメッセ残して退会しちまったよ⁽⁴¹⁾」とある。これはお茶や食事で楽に大金が稼げるとパパ活市場に参入してきた18歳の女子大生に、パパ活サイトにおいて「大人」は可能かと尋ねるパパ活男性が多くて、その女子大生は退会したという事例である。パパ活において、パパたちの多くがい「大人」を求めている証左である。これに対して、「まあ普通

(37) 824 名前：名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日：2022/06/07 (火) 13:39:21.19 ID:Hswi65ce0
 パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月7日閲覧。

(38) 825 名前：名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日：2022/06/07 (火) 14:01:39.52 ID:7nhGmzx-z0
 パパ活に関する情報を交換する本流スレ36 <https://phoebe.bbbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月7日閲覧。

(39) 826 名前：名無しさんと大人の出会い [sage] 投稿日：2022/06/07 (火) 14:11:38.60 ID:tISRwSIX0
 [2/2] <https://phoebe.bbbspink.com/test/read.cgi/pub/1646619880> 2022年6月7日閲覧。

(40) 188 名前：名無しさんと大人の出会い [] 投稿日：2022/06/28 (火) 01:17:19.48 ID:YnZvwD6g0
 パパ活に関する情報を交換する本流スレ37 <https://phoebe.bbbspink.com/test/read.cgi/pub/1655164971/150> 2022年6月28日閲覧。

(41) 596 名前：名無しさんと大人の出会い [] 投稿日：2022/07/05 (火) 07:57:19.65 ID:IDX0MZrI0 【パパ活】Love (ラブアン) 3 【動画】 <http://katsu200.ula.cc/2ch/%E3%81%8A%E6%B0%B4%E5%87%BA%E4%BC%9A%E3%81%84%E7%B3%BB/phoebe.bbbspink.com/1649676177/L> 2022年7月5日閲覧。

なら高齢者からセックス迫られるの耐えられんわな ラブアンは月額考えるとだいぶマシな方だと思うがワクワクメールのノリ持ち込む低収入も居るにはいるしなあ⁽⁴²⁾とレスを返している。自分の父親と同じかそれ以上の歳のオジサンたちと普通の感覚では対応できず、『ラブアン』というパパ活サイトは男性が支払う月会費高額（ゴールド会員：1ヶ月5千円、プラチナ会員：1ヶ月一万四千八百円）なのでいきなり「大人」を持ちかけるオジサンたちは少ないと思うが、2000年代から存在している『ワクワクメール』（2001年誕生）や『ハッピーメール』（2000年誕生）⁽⁴³⁾は会員の男性も女性も「出会い即性交」という流れも多いので、そのノリをパパ活アプリやサイトに持ち込まれては困るという意味内容である。

オジサンがパパ活を行う理由と目的は、「大人」であり、顔合わせや食事、デートは「大人」に至るまでにパパ活女子たちが求めてくる手続きを踏んでいるに過ぎないようだ。ここにおいて、性交などの性的行為なしの、顔合わせや食事、デートで大金が手に入るとアフィリエイトなどから情報を得たパパ活女子と、性交を求めるパパ活オジサンとの齟齬というか食い違いが生じて、トラブルの元となる。この対策として、茶飯系のパパ活女子は「定期を探しています」や「お茶や食事からはじめて関係を深めていく」といった「大人」を匂わせる言葉を、アフィリエイトから得て、パパ活アプリやサイトの自分のプロフィールに書き込む。

3-4. ドキュメンタリーの分析：「わたし、実は・・・少女たちの#パパ活」⁽⁴⁴⁾

ドキュメンタリーでは、パパ活は本来年上の男性とデートをして金銭を得る事を指すものだったが最近はパパ活＝援交になっているという内容だった。この認識は2017年以降に作られたもので、もともと援助交際の一形態であるというのが筆者の主張とも同じである。

ドキュメンタリーに登場する関西の大学で法律を学ぶひなたさんは、パパ活を行う利点は普段食べられないような高価な食事を食べられることである。また、根拠は不明だが、パパ活をしている理由を、父親の持病の手術費200万円を貯めるためだと言う。パパ活では若い女性を求めている男性が多いため、年齢を若く偽って19歳に設定している。

二人目の14歳のさつきさんは14歳の家出少女で、パパ活をして好きな人に貢ぐため10万円を稼いだと語る。家に帰りたくない理由は母からの暴行が原因であり、「生まれてきたのが間違い」と自分の存在を否定している。

電話取材で登場した42歳の会社員の男性はパパ活をしているが、中学生の娘がいる。東京に単身赴任をしていて、暇を持て余していたため、パパ活で遊ぶ相手を探している。彼が言うには、女性たちは一緒に食事に行って2万円から3万円もらえらると思っっているが、パパ活と言ってもほぼ援交と変わらない。「パパ活」という名前のもと、売買春の交渉が行われている現状があると

(42) 597 名前:名無しさんと大人の出会い [] 投稿日:2022/07/05 (火) 09:33:27.32 ID:+QJysI9C0 【パパ活】Love (ラブアン) 3 【動画】 <http://katsu200.ula.cc/2ch/%E3%81%8A%E6%B0%B4%E5%87%BA%E4%BC%9A%E3%81%84%E7%B3%BB/phoebe.bbspink.com/1649676177/L> 2022年7月5日閲覧。

(43) 「ワクワクメールの運営してるのはどんな会社？」 <https://navineko.com/company/> 2022年8月1日閲覧。「ハッピーメールは会員数が多いので会いやすい！いろんなタイプの人がいる！」 <https://navineko.com/happymail-kaisetsu/> 2022年8月1日閲覧。

(44) 『テレメンタリー2022』、朝日放送テレビ、2022年4月16日放送。

語る。

大阪府警は「パパ」を装っておとり捜査を行って、未成年の少女を補導活動に取り組んでいる。

以上が、ドキュメンタリー「わたし、実は・・・少女たちの#パパ活」の内容であるが、要点は二つある。一つ目はパパ活＝援助交際＝売春であるということ、二つ目は未成年の少女である女子中学生や女子高校生が売春を行っていることである。中村淳彦の「パパ活の定義① デートして、その見返りに金銭的な援助をしてくれる男性を探すこと」、「パパ活の定義③（高校生ではない）18歳以上」[中村 2021 p.27]はこのドキュメンタリーでは否定されたことになる。

3-5. 社会学者の分析

社会学者の松本妃奈子は、「「パパ活」とは、女性が男性と食事などのデートをして、その対価に金銭などの援助を受ける活動」[松本 2021 p.35]としている。また「食事だけではなく性行為を伴う関係を結んでいる「パパ活」もある」[松本 2021 p.36]と記述している。「この文章の出典はどこか？」とたどっていくと、坂爪真吾の『パパの社会学』と交際クラブ「ユニバーズ倶楽部」のパパ活ネーミングの物語とが挙げられている。

松本妃奈子は「本論では「パパ活」の内容が食事だけなのか、それとも性行為も含むのかという点においては論点にしない」[松本 2021 p.36-37]としており、「この行為が果たして本当に食事のみなのか、それともそれ以上の性的サービスを伴うかについては更なる調査が必要」[松本 2021 p.37]としている。

松本妃奈子の考える「パパ活」とは性的行為なしの食事などのデートなのか、性行為を伴う関係かはわからないとしている。

4. 「パパ活」とは何を意味するのか？

4-1. パパ活の定義

本稿の問いは次のようなものであった。一つ目の仮説は、パパ活は何も新しい社会現象でも行為・コミュニケーションでもないという説である。二つ目の仮説は、パパ活は援助交際とは全く別の新しい社会現象であり行為・コミュニケーションであるという説である。

筆者は20年以上の長期にわたって援助交際の研究を行ってきた。本稿で扱う援助交際とは、第三者の不在、女性にもプライオリティ（選択権）が与えられていること、愛情の欠如とコミュニケーションの側面の存在、匿名性の保持などの特徴をもつ「管理や強制なしに、ある人が金品を代償に、他者の性的な部分を買収することを前提として成立するコミュニケーションである」[圓田 2001 p.56]と考える。援助交際の行為内容には性交（男性器の女性器への挿入）などの性的行為を含むが、厳密に考えるならば援助交際＝売買春ではない。つまり、性交やその類縁行為、性器接触などの直接的な行為から、下着や制服、唾液や排泄物の売買、カラオケや食事とともにするなどのコミュニケーション空間の共有まで、援助交際の行為内容を幅広くとらえている。

この本が出版された2001年時点でカラオケや食事とともにするなどのコミュニケーション空間の共有までを援助交際の行為内容と記述しているので、筆者の立場は、一つ目の仮説の「パパ活は何も新しい社会現象でも行為・コミュニケーションでもない」という説を支持する。2014年の1月時点では、子供を出産するために妻が夫にまかなう「精力」のつく食事を作ることであった

「パパ活」が、交際クラブの登場によって、2016年8月19.26日合併号の『FRIDAY』がパパ活＝愛人契約と掲載された頃には、まだパパ活は、女性が援助交際における「パパ」と呼ばれる長期で定期的男性との間に行われる援助交際の一類型に過ぎなかった。

交際クラブは「「パパ活」とは自由恋愛としての関係を前提とすることにより、法的には売春ではないと位置づけられる」（東京都デートクラブ営業等の規制に関する条例、1997年6月13日、条例第68号）[松本 2021 p.43] という根拠に基づいて、パパ活は売買春でなく、女性が食事やデートで楽に稼げるというイメージを作りたかったのだろう。交際クラブ関係者の脳裏にあったのは、風俗ライター伊藤裕作の『愛人バンクとその時代』に記述されていたような1982年東京都内に設立された会員制の愛人バンク「夕ぐれ族」の女性主催者が売春斡旋容疑で逮捕され、夕ぐれ族自体も消滅した事件ではなかったのではないかと推測する。

4-2. 「パパ活」というマッチポンプ

パパ活には、「パパ活は援助交際ではないから売買春ではないよ。だから、オジサンも若い女性たちも安心して行って大丈夫だよ。だって、みんなやっているじゃん」というメッセージが隠されている。何の根拠も資料も調査もなく書かれた「いまや20代から30代女性の「10人に1人が経験者」とされる“パパ活”」という記事などがその好例だろう。

「だから、若い女の子に相手されないオジサンたちは、交際クラブに入会してお金を使ってね、パパ活アプリやサイトもあるよ」とあおる。一交際クラブの話からライターのアケミンの「パパ活市場において、男女比は1対6というのが定説⁽⁴⁵⁾」という断定記事や、「パパ活全体の市場で言ったら男女比は1対8位だと思うな⁽⁴⁶⁾」というツイートで、パパ活市場には女性たちがあふれており、参入した男性は気軽に簡単に安価にパパ活で女性と会える・目的が果たせるというイメージを構築している。言わばオジサンたちは釣られたのである。

ブームを作り社会問題化すれば、記事に困っているマスコミやインターネットニュースサイト、そしてその記事で生活しているライターも助かる。「女子高生（実際はパパ活を行っているけど）は一応法律上未成年の18歳未満でダメだけど、女子大生や若いOLさんたち、どんどんパパ活をやってください」という社会の構図が見え隠れする。中村淳彦の「パパ活の定義① デートして、その見返りに金銭的な援助をしてくれる男性を探すこと」、「パパ活の定義③（高校生ではない）18歳以上」[中村 2021 p.27] という操作的な定義はパパ活で利益を得る、パパ活を行う男性と女性、交際クラブ、パパ活アプリやサイトと出会い系アプリとサイト、マスコミやインターネットニュースサイト、そしてその記事で生活しているライター、アフィリエイトにとっては、好都合なのである。

「「パパ活」という言葉を広めたのは、アフィリエイト（特定の商品を自ら運営するホームページやブログなどで紹介し、成果報酬を得る人）たちだった（中略）「肉体関係なし」というイメージ付けをした⁽⁴⁷⁾」という記事に書かれているように、「パパ活」という言葉を広げたのは、

(45) 『週刊SPA!』2017年12月19日、「進化する [交際クラブの最前線]」 p.96。

(46) https://twitter.com/pp_kousai/status/946195597274398720 2022年7月28日参照。

(47) 『文藝春秋』2020年1月号、秋山千佳、「2020年の「パパ活女子」」 p.338。

成果報酬目当てのアフィリエイターたちであった⁽⁴⁸⁾。「進化する [交際クラブの最前線]」⁽⁴⁹⁾ という記事が『週刊SPA!』に掲載されると、すぐに「交際クラブ「私のあしながおじさん」でパパ活！業界唯一の“女性からオファー機能も”⁽⁵⁰⁾」という記事が『週刊SPA!』を元ネタにしてアフィリエイターが執筆しすぐにインターネット上に掲載される。

また、インターネットの影響で誰でも「ライター」になれる時代がやってきたという遠因もある。今の時代、誰でもウェブライターになれる。無報酬でもかまわないという素人が参加してきて良質な記事が出てくるようになり、困っているのは既存のライターたちである⁽⁵¹⁾。そこで、素人女性をパパ活に盛んさせるような記事を書いてあおって、執筆料や広告収入を得て、ブームらしきものを作り上げる。これは単なるマッチポンプ（自作自演）ではないだろうか。

パパ活の記事や書籍を書いたりコメントを提供しているライターや社会学者、自称社会学者がこれにお墨付きを与える。社会学者開沼博の「パパ活は新たな人間関係の創出や出会いの場としても実は機能している⁽⁵²⁾」という記事や、自称社会学者の坂爪真吾の「パパ活で成功する人は、恋愛や結婚、はたまた不倫でも成功できるのかもしれない。逆に言えば、恋愛や結婚をうまくマネジメントできない人は、パパ活には向かない」[坂爪 2018 p.87]と「「パパ活」というと、「女性の側が性的に搾取されるだけの関係」という見方をされることもあるが、男女がお互いに好影響を与え合う関係になることもある」[坂爪 2018 p.199]という文章や、またライターの中村淳彦の「ミレニアル世代やZ世代の女子にとっては、効率的なアルバイトして認知され、もはや当たり前前の稼ぎ方と言っていい⁽⁵³⁾」などの言説などがある。

こうして、交際クラブやパパ活アプリ・サイト、それに釣られたオジサンと若い女性たち、パパ活を持ち上げるアフィリエイター、そしてこれにお墨付きを与える社会学者（自称も含む）やライターたちによって、「パパ活」というマッチポンプができあがる。

有力パパ活サイトには女性向けに次のような甘い勧誘の言葉が並んでいる。「パパ活を夢実現のために活用することってアリ？ナン？」、「パパ活は夢を実現させる“特急券”になる」、「目的を忘れなければきっといい出会いになる」、「パパ活は夢を叶えるためのスタート」、「あなたには夢がありますか？「留学がしたい」「奨学金を返済したい」「就きたい職業のために勉強したい」など、いろいろあると思います。ただ、それらを叶えるために必要なのはやっぱりお金で

(48) 「「はじめに」で紹介したNHKの特集内では、2016年から2017年の間に「パパ活」という言葉の検索数が10倍に増加したと報道されたが、その内実は、パパ活にいそむ男女が増えたからではなく、成果型報酬に群がるアフィリエイターたちが増えたからだったのだ。一見すると男女間の欲望や駆け引きによって成立しているように見える世界が、実は恋愛やセックスとは全く関係ない経済的な動機、無機質なテクノロジーの集積によって動かされている、というのは極めて現代的な話に聞こえる」[坂爪 2018 p.182-183]。

(49) 『週刊SPA!』2017年12月19日、p.96。

(50) 2021年2月24日 <https://papapi.net/15650> 2022年7月28日参照。

(51) 「ウェブライターの葛藤、1文字1円はさらに値崩れ「ウェブは紙の半分の原稿料」「頑張ろうとしても苦しくなる」という記事では、1文字1円になったウェブライターの苦境が描かれている。この相場だと、税込み月30万円を稼ぐには、30万文字を書かないといけない。(https://www.bengo4.com/c_5/n_14732/ 2022年7月26日閲覧)。30万文字というと、講談社文庫のサイズ(1ページが41列×17行で697文字)で換算すると、431ページとなり、分厚い文庫ができあがる。

(52) 『週刊SPA!』2022年5月17日、「激変する「パパ活市場」大調査」p.53。

(53) 『週刊SPA!』2022年5月17日、「激変する「パパ活市場」大調査」p.53。

す⁽⁵⁴⁾」。

また男性向けには、「パパ活ビギナーがぶち当たる女子探しのお悩み3つ」と題して、「運命の出会いはいつだって突然やってくる⁽⁵⁵⁾」、「最初のうちは勝手にわからず、パパ活にめげそうになるときもあるかもしれません。しかし、パパ活をしたいと希望する子は、年々増加傾向にあります」とオジサンたちをパパ活へといざなう⁽⁵⁶⁾。このような文章は、「パパ活」や「パパ活アプリ」などで検索すると、数多くのアフィリエイターたちのウェブ記事で見ることができる。

4-3. パパ活の定義

パパ活を援助交際の一形態であることまず認識して、あえて筆者が定義するならば次のようになる。パパ活とは、就活、婚活などのように、「パパ」を得るための活動である。その中身は「性的魅力（若い、かわいい、清楚など）のある女性が、「大人」をちらつかせながらお茶や食事、デートなどの性的行為ではない方法で自分たちと20歳から30歳くらい離れた男性から金銭的搾取を行う活動であり、男性は直接的な性的搾取である「大人」を求めて女性に対して間接的な性的搾取を行うことである。

謝辞

本研究は、沖縄大学、2022年度地域研究所共同研究班、「沖縄における若者搾取の実態把握とその解決に関する法・社会学的研究」の研究成果の一部である。

参考文献

- 伊藤裕作, 2015, 『愛人バンクとその時代』 人間社 (人間社文庫).
- 坂爪真吾, 2018, 『パパ活の社会学—援助交際、愛人契約と何が違う?—』 光文社新書.
- 圓田浩二, 2001, 『誰が誰に何を売するのか?—援助交際に見る性・愛・コミュニケーション—』, 関西学院大学出版会.
- 圓田浩二, 2004, 「援助交際のフィールドワーク」 好井裕明・三浦耕吉郎編『社会学的フィールドワーク』, 世界思想社所収, pp.167-200.
- 圓田浩二, 2005, 「少女を巡る売買春への対応—沖縄における援助交際問題—」『現代の社会病理』第20号, pp.35-48.
- 圓田浩二, 2006, 『援交少女とロリコン男—ロリコン化する日本社会—』, 洋泉社y新書.
- 圓田浩二, 2011, 「ポルノ化する援助交際—「援交もの」と児童ポルノ—」大浦康介編『共同研究 ポルノグラフィ』, 平凡社所収, pp.268-287.

(54) <https://lovean.jp/column/104/> 2019年7月15日の記事、2022年7月5日閲覧。

(55) 713 名前:名無しさんと大人の出会い [] 投稿日:2022/07/13 (水) 22:34:46.44 ID:p76oq6KM0 の書き込み「お金だけの関係じゃない!心と心で繋がってる!と思い込んでるおっさんと、金のために相手してる女の子との認識の違いが池袋みたいな殺人事件に繋がる。俺たちは金だけの関係じゃない少数派の男女!って考えで例の件の予備軍な自覚が無いのが恐ろしい」(『5ちゃんねる』「お水出会い系板」「【パパ活】Love (ラブアン) 3【動画】」<https://phoebe.bbbspink.com/pub/#6> 2022年7月13日閲覧。

(56) <https://lovean.jp/column/103/>、2019年7月2日の記事、2022年7月5日閲覧。

松本妃奈子, 2021, 「現代日本における「パパ活」の進展と性の非対称性の検討ーイアン・ハッキング Grade of commitment 適用の試みー」『千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書』第361集 pp.34-44.

中村淳彦, 2021, 『パパ活女子』 幻冬舎新書.

参照URL

大学ジャーナルオンライン, 2022. 1.12, 「2021年度の大学生総数、約263万人で過去最多を更新」『大学ジャーナルONLINE』, <https://univ-journal.jp/138038/> 2022年7月31日閲覧。

出会い系ナビねこ, 2018. 6. 1, 「ワクワクメールの運営をしているのはどんな会社?」, <https://navineko.com/company/> 2022年8月1日閲覧。

出会い系ナビねこ, 2018.10.29, 「ハッピーメールは会員数が多いので会いやすい! いろんなタイプの人がいる!」, <https://navineko.com/happymail-kaisetsu/> 2022年8月1日閲覧。

グーグルトレンドズ 検索ワード「援助交際」「パパ活」, <https://trends.google.co.jp/trends/explore?date=all&geo=JP&q=%E3%83%91%E3%83%91%E6%B4%BB,%E6%8F%B4%E5%8A%A9%E4%BA%A4%E9%9A%9B> 2022年7月31日閲覧。

河合桃子, 「1800万円騙された」30歳被害女性が明かす 急増中「パパ活」詐欺の手口『デイリー新潮』, <https://www.dailyshincho.jp/article/2022/05040600/?all=1> 2022年5月4日閲覧。

Love& (ラブアン), 2019. 7. 2, 「パパ活ビギナーがぶち当たる女子探しのお悩み3つ」, <https://lovean.jp/column/103/> 2022年7月5日閲覧。

Love& (ラブアン), 2019. 7.15, 「パパ活を夢実現のために活用することってアリ? ナシ?」, <https://lovean.jp/column/104/> 2022年7月5日閲覧。

パパ活 交際案件【高級交際クラブ】, 2017年12月28日, 「パパ活全体の市場で言ったら男女比は1対8位だと思ふな」, https://twitter.com/pp_kousai/status/946195597274398720 2022年7月28日閲覧。

papapi, 2021. 2.24, 「交際クラブ「私のあしながおじさん」でパパ活! 業界唯一の“女性からオファー機能も」, <https://papapi.net/15650> 2022年7月28日参照。

高橋ユキ, 2022年7月23日, 「ウェブライターの葛藤、1文字1円はさらに値崩れ「ウェブは紙の半分の原稿料」「頑張ろうとしても苦しくなる」」, 弁護士ドットコムニュース, https://www.bengo4.com/c_5/n_14732/ 2022年7月23日閲覧。